

何度も壊れる赤い橋

舞台はゴミの島に架かる橋の下。

ゴミ清掃員たちが夢見る“赤い橋”は何度も壊れていく。

長すぎた青春の決着を描く男女8人夏物語。

「青春が終わる物語を探しています」

この一文はいつか誰かがどこかの掲示板に書き込んでいたものです。

青春が終わる物語。

思えば僕もこのジャンルを探していたような気がします。

王道ともいえる青春ものを今回描きます。

ただ、キャストに若い人はいません。

なので甘酸っぱくてホロ苦い味わいにはなりません。

おそらく登場人物は苦々しい味を噛み締めながら

新しい橋を渡っていくのだらうと思います。 作・演出 鮎田直也



アフリカン寺越

浦嶋建太
ブルドッキングヘッドロック

笹井千恵子

末廣和也

外村道子
ECHOES

橋本亜紀

森田あや
らまのだ

緒方晋
The Stone Age

日時

2018年7月19日(木)~22日(日)

7/19木	20金	21土	22日
	15:00	15:00	13:00
19:00	19:00	19:00	17:00

※受付開始は開演の45分前です。開場は開演の30分前です。
 ※お車・バイク・自転車でのご来場、未就学児のご入場はご遠慮ください。
 ※受付開始時間より整理券を発行、開場時の整理番号順にご入場いただきます。

料金/全席自由

前売・当日	3,500円
学生	1,500円 (小~専門学校、大学生・要学生証提示)
リピーター	1,000円 [同演目2回目] (要・本公演の半券提示)

チケット取り扱い

- ◇J-Stage Navi
<http://j-stage-ijp/> TEL 03-5912-0840 (平日11:00~18:00)
- ◇CoRich舞台芸術!
<http://stage.corich.jp/> 「プライアント」で検索
- ◇カンフェティ
<http://www.confetti-web.com/> TEL 0120-240-540 (平日10:00~18:00)
- ◇「劇」小劇場チケット窓口
東京都世田谷区北沢2-6-6 (楽園から、目の前の劇場窓口です)

会場

下北沢 小劇場 楽園

〒155-0031
 東京都世田谷区北沢2-10-18
 藤和下北沢ハイタウンB棟地下1F
 TEL 03-3466-0903

小田急線・京王井の頭線
 「下北沢駅」北口 徒歩5分



お問い合わせ

- ◇J-Stage Navi TEL 03-5912-0840 (平日11:00~18:00)
- ◇The Stone Age プライアント stoneage.bryant@gmail.com

The Stone Age プライアントとは

鮎田直也(The Stone Age)の作・演出による東京でのプロデュース集団。
 日々溜め込んだ切実な人間のマグマを描きたい。行き止まりの今日から、明日へと突破する人間を描きたい。
 そんな“マグマ演劇”を追求しています。

- 第1回公演「胸に突き刺さった5時43分21秒」
- ◆サンモールスタジオプロデュース「NUMBERS」参加作品「うしろ姿を数えてみる」
- ◆サンモールスタジオプロデュース「NUMBERS-再開-」参加作品「蝶々一匹。夏を変える。」
- 第2回公演「そんな奇跡は起きなかった」
- ◆サンモールスタジオ新春特別公演「30才になった少年A」
- 第3回公演「人が流されていく川」
- 第4回公演「脱出前夜」
- 第5回公演「月が大きく見えた日」
- ◆TOKYOハンバーグ+The Stone Age プライアント合同企画 Vol.3「夜明け前、私たちは立ち上がる。」

【舞台監督・舞台美術】大河原敦 【照明】長澤宏朗 【音響プラン】香田泉(零'sRecord) 【音響オペ】牛居朋広(零'sRecord) 【宣伝美術】朝田大輝 (The Stone Age) 【制作】J-Stage Navi 易田隆昌(B.B.Factory) 中川拓也(team365歩) 【協力】The Stone Age ブルドッキングヘッドロック ECHOES らまのだ (株)泉放送制作 (株)ケンユウオフィス ドリーヴス 【企画・製作】The Stone Age プライアント

【The Stone Age とは】 1998年8月、大阪シナリオ学校卒業生が集まり大阪で旗揚げ。奇妙な場所(ショッカーのアジト、四次元の女学校、この世とあの世の境目など)にこだわった一幕劇のオモロい作風。2010年より、東京を拠点とした「The Stone Age プライアント」と大阪を拠点とした「The Stone Age ヘンドリックス」で活動中。目指す世界観は「笑い」とドラマの奇跡の融合。